

## 令和元年度宮沢賢治記念館運営審議会会議録

### 1 開催日時

令和元年7月24日(水) 午前10時～午前11時20分

### 2 開催場所

花巻市矢沢第1地割1番地36 宮沢賢治記念館多目的ルーム

### 3 出席者

#### (1) 委員5名

中島健次委員(矢沢地域振興会副会長)、玉山領一委員(石鳥谷賢治の会会長)、小原節子委員(宮沢賢治・東和の会会長)、堀合範子委員(花巻ユネスコ協会事務局局長) 多田章委員(矢沢地域振興会理事)

#### (2) 事務局(宮沢賢治記念館) 4名

市川生涯学習部長、鈴木館長、晴山副館長、宮澤主査

### 4 議題

#### (1) 平成30年度事業報告について

#### (2) 令和元年度事業計画について

### 5 議事録

#### 会議成立の報告(鈴木館長)

委員7名中5名出席。宮沢賢治記念館管理運営規則第9条第2項により、委員の半数以上が出席していることから、本会議が成立することを報告。

#### 1 開会(鈴木館長)

#### 2 あいさつ

(市川部長)

今日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。宮沢賢治記念館は入館者が10万人を超える施設ですが、少しずつ入館者が減っているという状況です。人口が減少し観光客も減少する中で、観光面として国内のお客様をどう招いていくか課題がある一方、外国からのお客様にどう対応していくかいろいろ考えているところであります。今日は委員の皆さんからいろいろご意見を賜りまして、より良い記念館として事業をやっていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

#### 3 協議

(中島会長)

おはようございます。ご参集いただきありがとうございます。宮沢賢治記念館は個人を顕彰する記念館として全国に冠たるものがあると思っております。入館者については数に一喜一憂することなく、中身で工夫をし、宮沢賢治を顕彰する記念館という王道を歩んでいただければ、評価はもう定まったものがございます。皆さんのご意見も賜りながらよりよい運営をしていただければと思います。

(1) 平成30年度事業報告について

(晴山副館長) 資料に基づき平成30年度事業報告について説明。

(中島会長)

南斜花壇の直接の管理はどこですか。

(晴山副館長)

当館です。

(中島会長)

南斜花壇を通る人の誘導はどうなっていますか。にぎわっている状況でしょうか。せっかく手入れしているのでPRはやっていますか。花壇の下の方に看板はありますか。

(鈴森館長)

看板はあります。館内には南斜花壇のパンフレットをおいておりますし、受付でもお知らせをしています。坂道や階段があることを説明し、時間がある方、歩くことが大丈夫という方にはどうぞご案内しております。

(堀合委員)

平成26年度の入館者数は平成30年度より人数的に少ないですが一日平均の入館者数が多い、これは開館日数か何かでしょうか。

(鈴森館長)

平成27年4月のリニューアルのため、平成26年度は閉館期間がありましたので開館日数が少なく、その関係で一日平均の人数が増えています。

(小原委員)

日東工業株式会社の草刈り作業はボランティアでやっているのでしょうか。

(晴山副館長)

ボランティアです。

(小原委員)

このように載るのであればもっともっと呼びかけては。これは日東工業の方から話が来たものですか。

(鈴森館長)

企業の森活動ということで始まったもので、毎年草刈りをしていただいています。

(中島会長)

日東工業という会社の社会貢献奉仕ですね。記念館に限らずいろいろなところに社員を派遣しています。そういう部分は館報とかに載せていただければと思います。

入館者の声をいつも拾っていますよね。クレームはあまりないですか。

(鈴森館長)

来館者ノートを設置していますが、どちらかというと、来て良かった、特別展で直筆稿を展示している期間ですと、そういうものに出会えて良かった、何度も来ていますとか、そういった声の方が多いです。

(中島会長)

投書などでマイナスのイメージになったりすると一瞬にして怖い世界でもあります。そういった意味ではいいようですね。

それでは平成30年度事業報告についてはよろしいでしょうか。

(鈴森館長)

ここで、本日ご欠席の瀬川委員から事前に意見を頂戴しておりましたので、ご紹介いたします。

(晴山副館長)

宮沢賢治花巻市民の会の例会で意見があったそうなので紹介します。1番目は館内の展示についてです。説明パネルについての意見が多かった。パネルの数が多いが素通りしていく人が多いのではないかと。パネルの字が高齢者には読みにくいのではないかと。賢治初心者にも配慮したパネルになっているかと。テーマ別に適度に区切ってブロック毎に見やすくすれば、という意見があったようです。パネルに限った事ではなく、限られた空間の中で、どこをどう見たらよいかわからないという意見が多かったということです。2番目は見学コースについてです。来館者も初心者からマニアまでいろんな方が来るとお思いますので初心者コースとか中級者コースとか見学コースをモデル化してみたいという意見があったようです。3番目がイーハトーブ館との連携についてで、イーハトーブ館はトップレベルの研究者が賢治学会の理事にもなっているので、その方々の研究成果や見識を分かりやすく反映して、一体的に役立てて欲しいということです。4番目がコンシェルジュとしての受付ということです。来館者はさまざまな質問をされると思うのですが、対応が十分になされていないようだという指摘がありました。具体的にはちょっと待ってくださいと言って事務所に確かめに行ったり、事務所に行って聞いてくださいと言われていたりすることがあるようだということです。5番目は駐車場のトイレについてです。午後4時半に施錠されて閉鎖してしまうのは親切とは言えないのではないかと。修学旅行生など閉館時間に近い時間に来館する場合もあるので、その時間帯にトイレが使えない事もあったらしいので改善すべきではないかということです。あとは、インバウンドの外国人対応とか、パンフレットの置き方が話題になったということです。

(中島会長)

常設展示を簡単に変えるというわけにはいかないでしょうね。

(宮澤主査)

そうですね。

(市川部長)

瀬川委員からご意見があったということですが、最初のちょっと難しすぎるので

はないかということについては、前々から言われておりましたけれども、それらを吟味しながらこういう展示にしたわけですから、全部また変えるというわけにはいかないです。初心者向け専門家向けというのは、専門家向けというのは別に作らなくていいと思いますが、初心者向けであればこここのパネルを見れば一通りわかりますというようなシートを作って、対処するという方法があるかもしれないので検討すればよいかと思います。トイレを閉めるのが早いということは検討させていただければと思います。イーハトーブ館との連携はしていないのではなくて、連携はしています。ただ、花巻市民の会の方々も詳しい方もあれば初心者の方もありますし、いろいろな意見があったということですので、それらの意見を聞きながら館のほうでもできるものは検討していきたい。

(鈴森館長)

コンシェルジュとしての受付についてですが、受付は宮沢賢治記念会に委託しております。問い合わせについては記念会の方も勉強しております、一般的なことについてはご案内させていただいております。その上で難しい質問、専門的なものについては学芸員が対応するというので事務室の方に案内するようになっていきます。そういったことで時間を頂戴するというは実際ある部分ですが、そこは適切に対応するようにしています。トイレの件については、事前に団体予約がある場合は5時の閉館時間まで団体が出発するまで対応するようにしているところです。

(中島会長)

それはそれで適切な対応だと思います。仕訳をするということは大事だと思います。

(小原委員)

東和の会でも同じような意見で、宮沢賢治を詳しく知りたい人にはいいですけど、ちょっと訪れて賢治さんを見ただけでわからなかったという人が多いのではないかと、という意見はよく出ます。部長がおっしゃったように初心者向けの工夫をなさるといのは必要だと思います。

(中島会長)

ではいろいろ含めてお願いします。

## (2) 令和元年度事業計画について

(晴山副館長) 資料に基づき令和元年度事業計画について説明。

(中島会長)

特別展を毎回見っていますが、テーマは館内で話し合っ、あるいは有識者のご意見をいただいて決めているのですか。

(宮澤主査)

事業の一つとして直筆資料の修復というものを行っており、その修復した資料を何かの機会に公開できないかということを考えながらです。作品を紹介することでテーマを例えば「猫の事務所」とか「ゼロ弾きのゴーシュ」とし、それに合

わせて直筆稿を公開する。それに合わせて修復を行い公開するというものを行っています。修復が行われたものを基本的にテーマにあげるようにしております。

(中島会長)

修復作業は莫大なお金と時間がかかるというお話しでしたが、どのくらいかかるものですか。

(宮澤主査)

平成27年から修復にとりかかっていますが、だいたい毎年130万円くらいの予算をとっており、その範囲で修復をしているという形です。先ほど4ページのところで昨年度これだけ修復を行い、セロ弾きのゴーシュ、雪渡りについては既に特別展を行っております。他に特別展として扱っていないものがありますので、今後紹介していけるのかなと思います。順次修復を行っていけばストックも増えていくと認識を持っていただければと思います。

(中島会長)

まだまだかかるということですね。

(宮澤主査)

30年計画として年間130万円ということですので、30年×130万円という位です。現実的に1年間でやれるのはどのくらいか考えた結果、これくらいが現状として妥当なのではないかということです。もちろん一気にやってしまいたいという気持ちはありますが、やはり作業にもかなり手をかけて状況も違うところもありますので、そういったところを考慮して、バランスをとりながらになります。

(玉山委員)

修理は専門家がやっているのですか。

(宮澤主査)

修復業者に委託しています。

(市川部長)

業者に頼みますが、チェックしながら受け渡しもあり、こちらの作業もないわけではないので、そこも考えながらになります。業者もそれほどあるわけでもないでそうなります。

(玉山委員)

古くなって最後の方になったらボロボロになっているとかその辺は大丈夫ですか。

(宮澤主査)

ランクをABCと三段階にわけて危ないものから先にやるようにしています。

(多田委員)

一回修復をかけると当分は大丈夫ですか。

(宮澤主査)

前例がないのでなんとも言えませんが、基本的に脱酸処理というものをしております。酸化した紙を中性に近づけることによって、紙が劣化しないようにしております。これまででも形状は維持しておりますので、酸化しなければ大丈夫かと思

います。実際経過してみないとわからないところはあります。

(玉山委員)

和紙を使わないと長持ちしないので、和紙を使うと聞いたことがありますが。やはりそういう形にすると莫大なお金がかかるのですか。

(宮澤主査)

賢治の原稿は西洋紙がほとんどです。それを和紙に変えることはできません。ただ、裏打ちとかで和紙は今も使われている方法ですので、ケースバイケースですが、一つの修復方法として用いられることはあります。

(市川部長)

インクもとんでしまうこともありますし、日に当たってしまうとすぐ消えてしまいますから。そういう状況を見ながら、業者さんとも相談しながらですね。

(宮澤主査)

去年修復を行ったセロ弾きのゴーシュの原稿にしても、場所によって年代が違い、紙もそれぞれ違ったりしますので、全部同じ方法でというわけにもいなくて。そういった難しさもありますので調整が伴うということをご理解いただければと思います。

(堀合委員)

賢治に少し関心のある人たちをどう二回目三回目来ていただくことについてです。花巻市では賢治のイベントカレンダーを出していて賢治記念館も載っております。これにワークショップやギャラリートークを日程だけでも載せた方がいいのではという感じを受けました。市内各所に配布されています。市内の方で関心のある方もいます。個々にはHPなどに載ると思いますが直前になりますので、もっと早い時期にイベントカレンダーに載せておくと、それが直に来館につながるかわかりませんが、関心のある人に行っていますので、ぜひ日にちだけでも載せてはどうかというのが一つです。それから童話村には親子連れが結構入っておりますので、童話村の入り口に立看板でいいですから、宮賢治記念館で今この展示をしていますからぜひどうぞ。といったようなものをおいてはどうでしょうか。それからもう一つ、特別展の猫の事務所、祭の晩、貝の火も子供たちに非常に関心のある中身ですが、イベントカレンダーやチラシにしても大人向けです。それぞれの開催期間中には、5月の連休、夏休み、冬休みもありますので、小学生向けのチラシを作り、例えば4年生以上に渡してはどうでしょうか。まなびキャンパスカードを使うと子供も保護者も無料で見ることができます。来て見たらちょっと難しかったというところもあるかもしれませんが、何か将来に向けて賢治が印象に残ることで、次に足を運ぶきっかけになるのではと思います。

(中島会長)

すごくいいご提案だと思います。花巻市民はいつでも行けるとは思いますが、行ったことがない人が結構います。子供たちには誘導策が大事だろうと思います。最初は見てもわからなくても人生経験をつめばあっと思うものもあります。数に一喜一憂しないといいましたけども、数も結構大事ですので、そういう意味で工夫をしてい

ただければと思います。

(小原委員)

この賢治カレンダー素晴らしいと思います。県外の賢治の会とかそういうところにも送っているでしょうか。

(市川部長)

今は印刷物よりホームページとかネットとか言われますが、案外この印刷物も需要があってすぐなくなります。密度が高くなりますができるだけ加えることはいいと思います。遠くまで送っているかどうかについては今把握していません。だいぶ知られるようになってきていますので、今年の方は足りないという情報は聞いています。

(小原委員)

東京の岩手県出身の人たちにすごいものを出していると言われます。地元だけに配布するのではなく、遠くで宮沢賢治を思っている人も多いいと思いますので配布先を工夫していただければと思います。

(中島委員)

広報は意外と読まれていない。広報に載せたけれど知らないという人が多い、情報は入っているが伝わらない部分がある。

(市川部長)

広報で夏休み中のイベントが何をどこでやっているか、まなびキャンパスカードを使えるか載せている。夏休み前、冬休み前も出しています。

我々の年齢以上になると、ホームページを毎日見ている人は少ないです。年代的に広報が来ると一通りは見ますよね。わかるように分類したり紙面を変えて頑張っていますので、その辺りのご意見を参考にしたい。

(鈴森館長)

いろいろご意見をいただいたところですができるものはどんどん情報発信していきたい。童話村や学校にはポスターの掲示をお願いしておりますが、チラシについては今後検討していきたいと思います。

(中島会長)

私どもの肩書は運営審議会委員でございますので、ほかに思いついたことは遠慮なくいつでも言っていると思います。それでは、事業計画についてはご承認いただきたいと思います。

それでは、情報交換ということで皆さんから活動も含めお話をお願いします。

(玉山委員)

私たちの田んぼアートは宮沢賢治の童話を知ってもらいたいという思いがありますので、できるだけ多くのひとにご覧になっていただき賢治さんを一緒に考えていただければと。これからはやなまし祭や葛丸祭があります。また、毎年、賢治さんへの手紙を各小中学校の代表、花北青雲高校の生徒さんに書いてもらっています。子供たちと先生と連携しながらやっていると思いますが、すごく子供たちも深く考えています。子供たちが小さい時にやったことは大人になっても残っていますので、

これは気を緩めないで頑張りたいなと思っております。

(小原委員)

7月17日に花巻市民の会の阿部会長をお迎えして、賢治にかかわった女性たちというテーマでお話をさせていただきました。東和は萬鉄五郎を中心とした考え方でしたので、五年前に私を含め4人が発起人になり東和の会ができました。4つの地域それぞれに賢治の会がありますので、阿部会長に年に1回くらい交流会をもっともいいのではと提案しました。1つの会がまた4つ集まれば、宮沢賢治をもっと大きなうねりにできるのではと思い呼びかけていこうと思っています。賢治を通していろんなことを学んでいます。

(堀合委員)

ユネスコでは年5回ティータイムと称する読書会をやっております。2冊をとりあげうち1冊は賢治の作品を入れてやっております。あとは、岩大の望月先生にいらしていただいて、会員交流会で講演会や賢治のカルタとかを勉強しました。これからも賢治精神を汲んだ活動をしていきたいと思っています。

(多田委員)

先ほど堀合委員からイベントPRのお話がありましたが、1月2日に胡四王蘇民祭があり、その時は宣伝カーでPRをしています。できるかどうかかわからないですが近くなったらこの辺だけでも車で宣伝して歩くと興味がある人は行ってみようかとなるかもしれない。それから、外国人の入館状況は傾向として増えているのでしょうか。

(鈴森館長)

正確な数字はとっていませんが、台湾とか中国のアジアの方は増えてきているようです。

(多田委員)

その時の解説はどうしているのでしょうか。

(鈴森館長)

QRコードをスマホで読み取り解説を見ただけできるようになっています。

(多田委員)

冬場に坂道をバスが上がれないと聞いたことがあります、何年か前に融雪装置できてからその辺はどうでしょうか。

(鈴森館長)

冬場でもバスは上がって来ていますが、最後の直線のところは融雪が入っていませんので、そこに雪があるときは職員で除雪したり、除雪車をお願いしたりして対応しています。

(玉山委員)

どうして途中までになったのでしょうか。

(市川部長)

もうちょっと行けばよかったのでしょうか、そこまででいいかとういことになったのだと思います。

(中島会長)

技術的な問題なのかお金の問題なのか、中途半端でもったいないですね。

(堀合委員)

記念館にはイヤホンガイドはありますか。

(鈴森館長)

設置していません。

(堀合委員)

あちこちで特別展とかに行きますとイヤホンガイドあります。自分が知りたいところの番号を押すとそれを聞くことができる。500円位で有料ですがずっと説明を読むよりは、耳で聞きながらその資料を見るというのが手っ取り早くいいと思います。

(中島会長)

費用の問題はあるでしょうがあれば親切だと思う。今は大きい美術館のほとんどにありますね。絵は目で見て感じるとは言いつつも、これがあるとさらに深まります。初心者を読んで脳にいくのと、聞いて脳にいくのでは聞いた方が早いのではと思う。

(堀合委員)

好きなどころの番号を押すと関心のあるところが聞ける。時間が限られた人にはいいと思う。

(中島会長)

ありがとうございました。議事はこれまでですので後は事務局にお任せします。

#### 4 その他

(宮澤主査) 資料に基づき宮沢賢治資料の寄贈について説明。

(宮澤主査)

今後は修復等を進めながら機会をみて公開していきたい。早ければ9月に祭りの晩の特別展にあわせて公開できればと考えております。

#### 5 閉会 (鈴森館長)